

## 降雪期も 快適な道路に!

降雪期を迎え高島市および滋賀県では、道路交通と市民生活の安心・安全のため、本年度も積雪時の道路除雪を実施します。

除雪作業をより円滑で効果的に実施できるように次のことにご留意ください。

### ◎必ず適正な場所に駐車しましょう

路上や路肩の駐車は、除雪作業の大きな障害です。また、重大な事故の原因ともなります。

### ◎冬用タイヤに換えましょう

車には冬用タイヤを装着してください。また、タイヤチェーンやスコップなどを常備し、時間に余裕を持って出かけましょう。

### ◎目印をつけましょう

石垣や庭木、ブロック塀などが道路際にあると雪で隠れ、除雪作業時に確認ができず傷つける場合があります。大切なものが除雪作業で傷つくことのないよう、赤い目印を付けた2m程度の竹さおを立てるなどして明示してください。

また、移動可能なものについては、除雪作業に影響がない場所に置いてください。

### ◎枝打ちしましょう

道路際の竹や木などは、降雪や着雪により道路側に倒れたり覆いかぶさることがあります。

降雪の時期までに土地所有者または管理者の方で枝打ちや間伐などの処理をしてください。

### ◎火災にも備えましょう

万一の火災に備え、各地域において消火栓や防火水槽の場所がわかるよう明確にしておいてください。

※十分注意しながら除雪作業を実施いたしますが、雪の塊が宅地への出入口や車庫前などをふさぐことがあります。

大変ご不便をおかけしますが道路交通の確保のため、ご理解とご協力をお願いします。

(高島市土木交通部土木課)  
(滋賀県高島県事務所建設管理部)

### ダツハウ強制収容所



ダツハウ強制収容所の死体火葬炉。20万人以上が収容され4万人以上が処刑されたという。バイエルン州の子どもたちは必ずここに訪れて命の尊さや平和について学ぶ。

### エコツーリズム



カンペンバンドバーン(1664m)中腹の山小屋。眼下に広がる雄大な景色と、暖かいスープやソーセージが、ハイカー達にくつろぎの時間を与えている。

### 市立幼稚園



一人ひとりを大切にする教育を目指している幼稚園。家具や遊具はすべて保護者の手作りで温かみがある。建物には地熱や太陽光を利用してトイレは雨水を使用。

### バイオガス発電施設



バイオガス発電(家畜の糞尿などを醗酵させてメタンガスを生成)のためのタンク。2か月前に市でいちばん大きな農家に設置され、将来は220軒分の電気を賄う。



## ドイツ・バイエルン州 キーム湖周辺自治体との 新たな交流に向けて

### ◎滋賀県とバイエルン州

滋賀県とドイツ・バイエルン州は、平成15年に(財)滋賀県産業支援プラザと(社)KUMAS(クーマス)の後援として「環境相互協定」を締結して以来、経済ミSSIONの相互派遣や環境メッセの発展協力など、経済・環境分野でさまざまな交流が行われています。昨年、この協定の一環として、高島市とバイエルン州のキーム湖周辺自治体との間で交流を行うことはどうかとの提案が滋賀県知事からありました。

なお、この調査に要した費用は、旅費1,835千円、添乗業務委託料280千円、事務費64千円です。

### ◎バイエルン州環境省らの来訪

10月26日、びわ湖環境ビジネスメッセ2006に出席のため来日されたバイエルン州環境省次官やキーム湖排水環境連盟代表ら8人が高島市を訪問され、市職員との環境や観光をテーマにした意見交換会や、下水処理場、廃食用油からバイオディーゼル燃料(BDF)を精製する工場などを視察されました。

意見交換会でベルンハルト環境省次官は、「高島の自然を生かした産業や環境面での交流、子どもへの教育に関する面で協力したい」と話され、BDF精製工場では、このような施設が州には無いとのこと、ぜひ取り組んでみたいと大変興味深く耳を傾けておられました。



BDF精製工場を見学中のバイエルン州環境省らの一行

また、夕方は、マキノ町海津の貸別荘で行われた地元市民のおもてなしによる交流会に参加されました。

自治体があり、総人口は約4万人です。

30年前、深刻な水質汚染に悩まされていましたが、大規模な環境排水システムの導入で水質を改善し、バイエルン州の湖沼環境管理の代表的な成功事例となりました。現在は、総合的な管理を周辺自治体や企業で構成する「キーム湖排水環境連盟」が行っています。また、豊かな自然に恵まれた州を代表する観光地として知られ、エコツーリズムにも積極的に取り組んでいます。

高島市は、環境保全と観光振興の両立を目指すエコツーリズム普及のためのモデル地区として、環境省より国内13地域の一つに選ばれています。産業規模・人口規模等においても類似があるという理由から、当市に対し、友好交流の呼びかけがあったものです。



### ◎キーム湖周辺自治体と高島市

昨年、長浜ドームで開催された「びわ湖環境ビジネスメッセ2005」の期間中、海東市長とバイエルン州経済ミSSIONとの顔合わせの機会が設けられ、キーム湖排水環境連盟のハインリッヒ・ヴァルナー氏が当市を視察されました。

この後、キーム湖・プリーンの連盟会議において、バイエルン州環境省を交えて、当市との交流に関して大変前向きな話し合いが行われました。その結果、環境相互協定の一環として位置付けられた「高島市ミSSION」の招待に関する提案を、滋賀県国際課を通じて受けました。

このため、10月7日から13日までの7日間、海東市長を含む市職員5人がバイエルン州を訪問し、環境や経済面だけでなくあらゆる観点からの交流を将来的に図ることができるとの調査を行いました。キーム湖側も高島市の訪問を厳格に受け止めておられ、あらかじめ用意された3日間のプログラムにより、污水处理場やバイオガス発電施設、幼稚園の視察、エコツーリズム体験などを行いました。また、ミュンヘン郊外にあるナチスの政策で最初に作られたダツハウ強制収容所を見学し、環境教育のみならず平和教育にも熱心なバイエルン州の現状を目の当たりにしたことは大変意義深いものとなりました。

### ◎新たな交流に向けて

高島市とキーム湖周辺自治体との交流は、現在調査段階でありませんが、バイエルン州の環境や観光また経済面など、高島市にとって参考となる事例が多くあり、今後どのような形で広げていくのか、さまざまな分野から検討する必要があります。

滋賀県、高島市、バイエルン州、キーム湖周辺自治体、この4者がお互いに対話し、市民の皆さんのご協力を得ながらよりよい関係を築いていくことで、新たな交流の可能性について考えていきたいと思えます。

(企画調整課)